

平成25年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	鹿島市立東部中学校		
2 所在地	鹿島市大字浜町甲 4020		
3 校長名	巨瀬 徳彦		
4 学級数 児童生徒数	10学級 313人	5 実施学年 児童生徒数	1年 114人

6 取組のねらい

- ① 未来を担う子どもたちが人間の多様な個性や違いを理解して、このようなことを当たり前のものとして身につけ、相手を尊重する意識や思いやりの心を育てる。
- ② UDの視点に立った交流教育や高齢者疑似体験などを通して、豊かな心を育成するとともに、子どもたちのUDの理解を深める。

7 取組の実際

① 高齢者疑似体験と福祉ふれあいグランドゴルフ

高齢者疑似体験や福祉ふれあいグランドゴルフを行い、体験セット装着・ブラインドウォークなどを体験することで高齢者の立場を知り、高齢者とふれあうことでバリアフリーの必要性とUDとの違いを学ぶことができた。



② 鹿島市UD探検

地域にあるUD商品やバリアフリー施設などへの関心を高め知識を深めるために、夏休みを利用して、UDF実行委員が町並みやホームセンターなどを見て回った。



*UDF実行委員とはUDと福祉の実行委員の名称。

③ UD講演会（嬉野市バリアフリーセンターより）

UDF実行委員を主体としてUD講演会を開催した。講演会前日、UDF実行委員を主体として各クラスでUDの紙芝居を行い、意識を高め講演会にのぞむことができた。心あるバリアフリーがテーマで、生徒もしっかりと聞くことができ、生徒からの質問もたくさんあって、意義のある講演会になった。



*UDF実行委員とはUDと福祉の実行委員の名称

8 取組の成果と課題

高齢者疑似体験、福祉ふれあいグラウンドゴルフ、鹿島市 UD 探検、UD 講演会などを通して、生徒一人一人が UD に対して興味関心を深め、相手を尊重し、思いやりのある心を育てることができた。また、実行委員はいろいろな経験をしてリーダー性を発揮することができた。

今後の課題は、学んだことを日常生活の中で実践すること、次の学年にもつなげていくことである。今後も総合的な学習の時間などを利用して、UD について、生徒が知識を深め、実践力を身につけていけるようにしていきたいと思う。